

参加者：倉富会長、山口副会長、竹下、川崎、金子、川辺、原、上城、小池、小松、鶴田、
本山、熊谷

1. 会長報告

①認知症と家族の会 全国研修会 10 月 24・25 日開催。

・OT 県士会から 21 名ボランティアで参加。盛況だった。OT 県士会より研修会の運営マニュアルを活用した。今後、家族の会の会員への依頼がくるかも。

②九州地区作業療法士会長会議・PTOT 合同士会長会議参加。

・山口副会長より検討事項および報告（別紙資料参照）。

⇒・九州合同学会の参加は、OT 協会と九州の県士会の会員であること。次大会の沖縄からは両方の会員証の提示が必要。→佐賀県士会の会員証は作成済み。再来年は北九州のため、山口など九州外からの参加も考えられる。地区以外の参加に関しては士会長会議にて検討すること。

・学会誌の増刷があった。→今後は、会員への配布後の増刷はしない。各県士会での責任とする。

・査読員の名簿を作成。→佐賀県士会では査読員の名簿は存在。座長の名簿はない。学術部が担当し、両名簿（査読および座長を一緒の名簿で）を作成することで検討する。作成は 2 月中旬くらいに提出しないといけないため、それを見越し作成する。

③さが介護予防支援協議会への講師派遣

・②内容に関して、虚弱高齢者の心身の理解の講師は寺崎 OTR（白石共立病院）に変更。筋力向上トレーニングの講師は原 OTR の代理で、大藤 OTR（ひらまつ病院）が実施。

2. 検討事項

①県士会学会の日程・内容を検討

⇒・5 月 9 日か 16 日で検討、16 日（日）の鹿島エイブルが有力であるが、講師の先生の日程次第で決定する方針。内容に関しては、2 テーマにする、1 テーマで 3～4 時間、市民公開講座にするなど挙げた。担当地区は杵藤地区（鶴田 OTR）であり、杵藤地区で 1 月の理事会までに検討してもらうこととなる。

②作業療法推進活動に関して

⇒・県士会作成パンフレット冊子の配布状況。配布ができていない。2000 部作成分を年度内に配布すること。佐藤 OTR（事業部長）を中心に。各会員に意識してもらい配布していく。

・他県士会・団体との協賛活動。OT の啓発活動にもっと力を入れていく。

③平成 21 年度九州作業療法士会長会合同研修会への参加に関して。

⇒・県士会の推薦として原 OTR が研修会へ参加することとなる。また会議に関しては山口副会長が参加予定。

3. 広報部より報告（上城 OTR）

- HP の件

⇒新しいバージョンに移行している。web 上での求人広告は無料（県内施設に限り）。

- 検討事項として；県士会での学術誌を発行しては？

⇒目的としては、佐賀から学術誌を出して OT の啓発に活かしたい。会議では、筆頭演者の規定や論文が集まるのか？編集委員はどうするのか？など議論となる。

筆頭演者に関しては、入口を広くするために、県士会の会員が筆頭演者もしくは共同演者でもよいのでは？など意見があった。編集委員に関しては、組織化してメンバーの構成を考えていく。次回の理事会までに今回の意見を参考に検討していく。

4. 教育部より報告（金子 OTR）

- 認定作業療法士の切り替えの時期。現段階で全国に 1540 名いるが、更新手続きをしているのが、470 名程度。呼びかけをとのこと。また事例検討制度が上手くいっていないこともあり、今後免除項目なども協会は検討していくとの報告。

5. 財務部より報告（原 OTR）

- 3 回目の督促状を予定している。赤色にして。210 名の会費納入を確認。

次回の理事会は、1 月 17 日（火）19：00～の予定。